

家庭科 5年

題材名：できるよ、家庭の仕事

本時のねらい	家庭生活を支える仕事について、教師モデルをもとにより良い家事の行い方を考えたり、「どうすれば家の人が喜んでくれるか」などの視点からグループで実践について話し合ったりする事を通して、実践を評価し改善する方法を考えることができるようにする。
評価規準 具体的な児童の姿	家庭の仕事について、実践を評価し課題を改善する方法を考えている。 「水をしっかり切ってからかごに入れれば、水が垂れない。」「友だちのたたみ方がやりやすそうだ。」「そんなところまで見て掃除をしていなかったの、家に帰ってやってみたい。」

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ①評価(方法) ※支援を要する児童への手立て	準備物
8分	1. 前時及び家庭での実践をふり返る。	<p>○前時の学習内容をふり返り、家庭学習で行った家事の実践について確認することができるようにする。</p> <p>・「食べることに関係すること」「衣服を整えること」「家の中を整えること」について、それぞれ児童の実践事例を見せながら、具体的にどのように実践を行ったのか、また、友達がどの観点の家事を行ったのかを確認する事ができるようにする。</p>	<p>家事を行った様子を撮影した動画</p> <p>ワークシート</p>
10分	2. 本時のめあてを確認し、教師モデルから家庭の仕事について改善点を見つけるための視点を考える。	<p>○教師モデルを見ながら、どのようにすればよりよい家事になるのか全員で話し合うようにする。</p>	教師モデルの動画
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 家庭の仕事をレベルアップさせる方法を考えよう。</div>			
10分	3. グループで撮影した動画を見合い、家庭の仕事について改善点を考える。	<p>○子どもから出た意見をもとに、家庭の仕事をレベルアップさせるためには「効率をよくすること」「順番を工夫すること」「丁寧にすること」「環境により行動をすること」などの視点があることをまとめる。</p> <p>○家で実践した家事の改善点について、撮影しておいた動画をもとにグループに分かれて話し合うようにする。</p> <p>・「食べることに関係すること」「衣服を整えること」「家の中を整えること」の3つの観点に分けて、同じ観点の子どもどうしでグループを作</p>	家事を行った様子を撮影した動画



		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どうすればもっとよくなるか」「家の人が喜んでくれるか」という視点で話し合いを進めるよう指示する。 <p>○グループの中で最初の人話し終わったら、代表の児童の動画を見て、改善点を出し合い、動画を見る視点が同じになるようにする。</p> <p>※ 話し合いが難しいグループには、撮った動画の何が課題か尋ねたり、大変だったことや工夫したことを聞いたりして、話し合いができるようにする。</p>	
			
<p>10分</p>	<p>4. 話し合ったことを発表する。</p>	<p>○家庭の仕事について、実践を評価し改善の計画を立てている。〈行動分析・記録分析〉</p> <p>○代表の児童数名に話し合ったことを尋ね、考えを広げるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の一員として、家族の生活をよりよくしようとする視点で考えられているアイデアを価値付ける。 	<p>ワークシート</p>
<p>7分</p>	<p>5. 本時の振り返りを行う。</p>	 <p>○めあてに対する振り返りや、次の実践に繋げたいことを書くようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループでの改善案で良いところを発表するようにする。 ・家で再度取り組み、その様子を撮影してくるようにする。 	

1人1台端末の活用は効果的であったか

- 家庭での実践を動画で撮影することによって、家庭と学校を結ぶことができた。また、子どもたちにとっても友だちの家事の様子は興味がわく題材となった。
- ▲動画の録画時間を1分程度に指定するなどして、話し合いの時間が十分に取れるようにしたい。また、前時にどのような視点で動画を撮影するか具体的に指示することには課題が残った。